

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	果実の木 江洲教室		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日		～ 2026年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		～ 2026年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 5月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が楽しく、安心感を持って通所してくれているようです。	日々、学校で頑張ってきた後に利用する事業所ですのでまずは本人たちの安心が一番に感じられるよう関わっております(傾聴、受容、共感)。安心が最優先された空間で「楽しい」と思える活動の展開を心がけております。また、中高生の利用も多いのでその年齢層に合わせた関わりという部分にも注力しております。	子ども達や保護者様のニーズにも応えながら、より濃い療育が展開できるよう研修等も充実させていきます。
2	専門的なアプローチと様々な活動内容を魅力に感じている様です。	会社内で法定研修以外の研修も充実しており、各担当、役職、でも月1以上のMTを行い、それぞれがより専門的な視点を持って療育が行えるよう取り組んでおります。	更なる人材の確保や人材育成などの継続した取り組みをしていながら、各教室に留まることなく各役割の職員たちが協力し合いながら高めていけるような環境づくりをしていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けのプログラムの開催やペアレントトレーニングなどの回数。	開催はあるものの、その回数と周知に足りない部分があった。	回数の充実の他、保護者様の直接的な困り感などの解消に向けたプログラムの開催などの提案などに取り組んでいきます。
2	各マニュアルの説明と周知	事業所内で完結してしまっていることが多く、保護者向けの説明が出来ていなかった。	より風通しの良い環境で児童支援以外の取り組みやマニュアルなどの説明も積極的に行っていきます。
3			